

小児科学 研究概要

(A) 免疫・アレルギー・感染部門

免疫・アレルギー・感染部門は、文部省科学研究費基盤研究展開(A)「ADF/チオレドキシンによる食品低アレルゲン化法の開発と食物アレルギー治療」（平成10～12年度），厚生省特定疾患「原発性免疫不全症候群研究班」，厚生科学研究「アトピー性皮膚炎の病因・病態の解明および新治療法の開発に関する総合研究班」，同「喘息ガイドライン作成に関する研究班」，同「小児慢性疾患の効果的療育支援のあり方と治療の評価に関する研究班」，同「食物アレルギーの実態及び誘発物質の解明に関する研究」，公害健康被害補償予防協会委託「小児気管支ぜん息の発症・変動因子に関する研究」などで、小児アトピー性疾患の病因病態における食物アレルギーの関与の解明と新しい治療法の開発，ヘルパーT細胞の分化機構の解明とそのアレルギー疾患治療・予防への応用の可能性，複合型免疫不全症であるCD8欠損症(ZAP-70欠損症)の病因と病態の解析，気管支喘息治療ガイドラインの作製，アトピー性皮膚炎治療ガイドラインの作製，小児慢性疾患患者のQOLの改善に向けた研究，気管支喘息の発症予測因子の解明と予防法の確立などの研究活動を行った。臨床では、気管支喘息，アトピー性皮膚炎，小児膠原病を中心に、その病態の解析やより有効な治療法の開発を行った。

(B) 内分泌・代謝部門

タンデム質量分析計を用いた新生児代謝異常マスキングのパイロットスタディでは約10万新生児をスクリーニングし、日本における重要な対象疾患とその頻度を示すことにより、このスクリーニングの重要性を明らかにした。ウイルソン病のマスキングは、3歳児健診との連携を検討した。脂肪酸酸化異常症や有機酸代謝異常症のハイリスクスクリーニングでは、多数の患者の化学診断を報告し、遺伝子解析を共同研究として行った。プロピオン酸血症モデル動物に対する遺伝子治療の効果判定について生化学的な検討を共同研究として行った。Fructose-1,6-diphosphatase欠損症の遺伝子解析の意義について発表した。リジン尿性蛋白不耐症における新しい食事療法について発表した。成長ホルモン分泌調節へのチオレドキシンの関与を明らかにした。また、成長障害に関連した症例の診断治療について発表した。

(C) 腎・循環器部門

(1)新生児の腎尿路異常に対する超音波スクリーニング (2)腎尿路異常を有する小児や尿路感染症児の内科的な管理による経過観察 (3)小児ネフローゼ症候群のステロイドおよび免疫抑制療法に関するコントロールスタディーを引き続き行った。そして(1)日本人の尿路奇形の発生にはangiotensin II type 2 receptor遺伝子異常がみられないこと(2)日本人小児の巣状糸球体硬化症では、アンジオテンシン変換酵素遺伝子多型のD型が有意に多く発症に関与していると考えられること、しかし腎不全への進行にはこの遺伝子多型との有意な関連はなく、シクロスポリンによる治療の有無の影響が大きいことをそれぞれ誌上に発表した。また、(1)新生児の超音波スクリーニングにより、無形成腎が1300人に一人の発生頻度であり、生後早期に退縮して腎組織として認められなくなり、これまで小児や成人で無発生腎と診断されていたものは生後に退縮した無形成腎と考えられること(2)膀胱尿管逆流症に対しては定期的な検尿を行い、内科的に管理することで尿路感染症の発症を十分に防げること(3)これまで逆流性腎症と報告されてきたもののほとんどは先天的な腎形成異常によることを学会にて報告した。

小児循環器部門では、臨床面においてはa先天性心疾患の診断および心臓血管外科との連携による治療s生後発症小児心疾患（不整脈，川崎病後冠動脈障害など）d学童の心臓検診とそのフォローを行っている。また血液・悪性腫瘍グループとの関係のもと、化学療法による心機能への影響について、心エコーなどによる非侵襲的評価を試みている。小児循環器分野ではカテーテル治療の適応拡大が進んでおり、当科でも該当症例に対する治療を施行している。また小児肺高血圧患者において各種病態に応じた治療方法の検討を行っている。

(D) 血液，悪性腫瘍部門

血液・悪性腫瘍部門は臨床において白血病や固形悪性腫瘍に対しての化学療法，分化誘導療法，造血幹細胞移植を行っている。平成13年度の非血縁者間骨髄移植施設認定基準の診療科単位への変更に伴い、小児科として施設認定された。その診療のなかでの個々の症例の概要や知見について報告した。また高度先進医療「固型腫瘍のDNA診断」で、DNA，RNAレベルでの診断や治療効果の評価を行い、臨床応用について検討を継続している。

(E) 神経・発達部門

神経グループは臨床では、乳児健診から、てんかん，脳性麻痺，筋ジストロフィーなどの小児神経・筋疾患の診療をおこなっている。注意欠陥多動性障害(ADHD)，学習障害，自閉症スペクトル，チックなどいわゆる発達障害につい

でも、中井助手がカナダ留学中にalpha-Methyl-L-Tryptophan PETを用いた脳内セロトニン代謝画像化法の様々な精神疾患への臨床研究を行い多くの新しい知見を得て帰国したが、こうした成果に基づき、セロトニン・ドパミンなどモノアミン系を中心とした神経伝達物質の発達障害という病態を実際の診療にも応用し治療効果をあげている。また、不登校・ひきこもり、いじめ、うつ状態、摂食障害、転換性障害などの精神的・心身症的な疾患についても、従来からの福井大学教育学部松木健一助教授を中心とするカウンセリングに加え、セロトニンを中心とした神経伝達物質の変調という面からのアプローチ、また、本院に設置されている福井東養護学校五領分教室の協力等、チーム医療として“こころ”のケアを行っている。

研究としては、新生児・乳児の行動・精神発達学をfunctional MRIや近赤外線分光法(NIRO)を利用した脳機能画像法を中心に行っている。このうち岡崎国立共同研究機構生理学研究所や東京女子医大乳児行動発達学講座、福井大学教育学部等との共同研究プロジェクトは、科学技術振興事業団(JST)社会技術研究推進事業「脳科学と教育」に平成13年度新規採択された。また、本学放射線医学講座と共同で、小児急性神経疾患の診断・病態生理の理解にMRIでのDiffusion-weighted, Perfusion-weighted imageの有用性についても研究を行っている。

研究業績

著書数	5編
原著数	15編
そのうちインパクトファクターの合計	33.485
症例報告数	6編
総説数	12編
報告書数	12編
学会発表数	80編

著 書

(0031141)

眞弓光文, *森川昭廣, *三河春樹: 乳幼児喘息の管理と治療. 宮本昭正(監修): EBMに基づいた喘息治療のガイドライン. 厚生労働省医療技術評価総合研究喘息ガイドライン班作成. 協和企画, 142-156, 2000.

0131001

*中川武正, 眞弓光文, *中島重徳: 喘息管理上の種々の側面. 宮本昭正(監修): EBMに基づいた喘息治療のガイドライン. 厚生労働省医療技術評価総合研究喘息ガイドライン班作成. 協和企画, 224-231, 2001.

0131002

眞弓光文: 若年性関節リウマチ. 多賀須幸男, 尾形悦郎, 山口徹, 北原光夫(編): 今日の治療指針. 医学書院, 835, 2001,1.

0131003

平岡政弘: 腎性低尿酸血症. 小児内科. 東京医学社, 33, 2001-2004, 2001,4.

0131004

眞弓光文: 小児喘息の考え方. 森田寛, 永倉俊和, 宮地良樹, 岡本美孝(編): アレルギーナビゲーター. メディカルレビュー社, 48-49, 2001,5.

0131005

塚原宏一, 眞弓光文: ショック. 三河春樹, 松尾宣武, 森川昭廣(監・編): 小児救急の手引きVol10. 臨床医薬研究協会, 1-9, 2001,10.

原 著

第一著者	8編
コレスポンディング・オーサー	2編
その他	9編

(0031142)

* Natsume, J., * Fedi M, * Rosa P, * Bernasconi A, * Bernasconi N, Nakai, A., * Kumakura, Y., * Dubeau F, * Andermann F, * Lisbona R, * Diksic M. : Temporal Uptake of α -[11C]Methyl-L-Tryptophan in patients with intractable temporal lobe epilepsy: Evaluation with positron emission tomography. *Epilepsia*. 41(suppl.7), 58, 2000. #3.787

(0031143)

* Benkelfat C, * Leyton M, * Sookman D, Nakai, A., * Barsoum A, * Rosa Neto P, * Pinard G, * Blier P, * Diksic M : Serotonergic mechanisms in obsessive compulsive disorder (OCD): A PET Study using 11C- α -Methyl-Tryptophan. *Int J Neuropsychoph*. 3(Suppl.1), S4, 2000. #1.323

0131006

塚原宏一, 古畑律代, 山田直江, 佐藤周子, 轟夕起子, 小畑浩一郎, 平岡政弘, 眞弓光文 : 新生児慢性肺疾患予防対策として早期デキサメサゾン療法を施行された6症例の臨床経過. *小児科診療*. 64, 265-268, 2001.2.

0131007

Hiraoka, M., * Taniguchi, T., * Nakai, H., * Kino, M., * Okada, Y., Tanizawa, A., Tsukahara, H., Ohshima, Y., * Muramatsu, I., Mayumi, M. : No evidence for AT2R gene derangement in human urinary tract anomalies. *Kidney Int*. 59(4), 1244-1249, 2001.4. #3.781

0131008

Nakai, A., * Kumakura, Y., * Boivin M, * Rosa P, * Diksic M, * D'Souza D, * Kersey K. : The Gender cerebral regional difference of serotonin synthesis in patients with irritable bowel syndrome. *NeuroImage*. 13, S818, 2001.5. #6.857

0131009

Omata, N., Tsukahara, H., * Ito, S., Ohshima, Y., Yasutomi, M., Yamada, A., Hiraoka, M., * Nanbu, M., * Deguchi, Y., Mayumi, M. : Increased oxidative stress in childhood atopic dermatitis. *Life Sci*. 69, 223-228, 2001.6. #1.774

0131010

Tsukahara, H., * Sekine, K., * Uchiyama, M., * Miura, M., * Nakazato, M., * Date, Y., * Tsunazawa, W., * Kotsuji, F., Nishida, K., Hiraoka, M., Mayumi, M. : Uroguanylin level in umbilical cord blood. *Pediatr Int*. 43, 267-269, 2001.6. #0.52

0131011

Nishida, K., * Watanabe, K., * Echigo, S., Mayumi, M., * Nishikimi, T. : Increased plasma adrenomedullin levels in kawasaki disease with coronaey artery involvement. *Am J Med*, 111(2), 165-166, 2001.8.

0131012

* Diksic M, Nakai, A., * Kumakura, Y., * Boivin M, * Neto PR, * D'Souza D, * Kersey K. : Regional differences of serotonin Synthesis in Patients with irritable bowel syndrome revealed by using α -[11C]Methyl-L-Tryptophan, PET and statistical parametric mapping. *Eur Nucl Med*. 28, 1021, 2001.8. #3.772

0131013

* Kumakura, Y., * Natsume, J., * Toussaint PJ, * Rosa P, Nakai A, * Mzengeza S, * Meyer M, * Diksic, M. : Generation of functional images of the tissue trapping constant for α -[11C]Methyl-L-Tryptophan using constrained linear regression and venous sinus normalized ionput function. *Eur J Nucl Med*. 28, 1107, 2001.8. #3.772

0131014

Hata, I., * Shigematsu, Y., Ohshima, Y., Tsukahara, H., * Fujisawa, K., Hiraoka, M., * Nakamura, H., * Masutani, H., * Yodoi, J., * Kotsuji, F., * Sudo, M., Mayumi, M. : Involvement of the thioredoxin in the regulation of growth hormone secretion in rat pituitary cell cultures. *Am J Physiol Endocrinol Metab*. 281, E269-274, 2001.8. #3.077

0131015

Jiang M, Chen Z, Tsukahara, H., Ohshima, Y., * Ou B, * Chen X, * Wu X, Mayumi, M. : Relationship between gastric acid suppression and healing of peptic ulcers in children. *Int Med J.* 8, 199-203, 2001,9.

0131016

* Noiri, E., * Nakao, A., * Uchida, K., Tsukahara, H., * Ohno, M., * Fujita, T., * Brodsky S, * Goligorsky MS. : Oxidative and nitrosative stress in acute renal ischemia. *Am J Physiol Renal Physiol.* 281, F948-957, 2001,11. #3.590

0131017

* Fedi M, * Reutens D, * Okazawa, H., * Andermann, F., * Boling W, * Dubeau F, * White C, Nakai, A., * Gross DW, * Andermann E, * Diksic M. : Localizing value of α -Methyl-L-Tryptophan PET in Intractable epilepsy of neocortical origin. *Neurology.* 57, 1629-1636, 2001,11. #4.781

0131018

* Miyazaki, T., * Ohura, T., * Kobayashi, M., * Shigematsu, Y., * Yamaguchi, S., * Suzuki, Y., Hata, I., * Aoki, Y., * Yang X, * Minjares C, * Haruta, I., * Uto, H., * Ito, Y., * Muller U. : Fatal propionic acidemia in mice lacking propionyl-CoA carboxylase and its rescue by postnatal, liver-specific supplementation via a transgene. *J Biol Chem.* 276, 35995-35999, 2001.

0131019

* 重松陽介, 平野聡子, 畑郁江, 藤澤和郎, 中井昭夫, * 田中幸枝, * 須藤正克: タンデム質量分析計を用いた新生児代謝異常マス・スクリーニング-スクリーニング地域拡大と患者検体測定による知見の蓄積-. *日本マス・スクリーニング学会誌.* 11, 57-67, 2001.

0131020

* Hori, C., Hiraoka, M., * Yoshikawa, N., * Tsuzuki, K., * Yoshida, Y., * Yoshioka, K., Fujisawa, K., Tsukahara, H., Ohshima, Y., Mayumi, M. : Significance of ACE-genotypes and medical treatments in childhood focal glomerulosclerosis. *Nephron.* 88, 313-319, 2001. #1.561

症例報告

0131021

竹内元浩, 谷澤昭彦, 福本由紀子, 木川芳春: 少量シタラビン療法による皮疹. *臨床血液.* 42(3), 216-217, 2001,3.

0131022

轟夕起子, 塚原宏一, 川谷正男, 小畑浩一郎, 木村宏輝, 大嶋勇成, 平岡政弘, 眞弓光文: 致死的経過をたどった Wilson-Mikity症候群の新生児例: 肺傷害の評価. *小児科診療.* 64, 420-423, 2001,3.

0131023

大坂陽子, 塚原宏一, 山田直江, 巨田尚子, 山下信子, 平岡政弘, 眞弓光文: 肉眼的血尿を契機に発見された水腎症の1例. *小児科臨床.* 54, 1478-1480, 2001,7.

0131024

轟夕起子, 塚原宏一, * 重松陽介, 小畑浩一郎, 古畑律代, 小野合歓子, 藤澤和郎, 平岡政弘, * 堀親秀, 眞弓光文: 4番染色体長腕部分トリソミーの1乳児例. *日児誌.* 105, 785-788, 2001,7.

0131025

巨田尚子, 塚原宏一, 古畑律代, 川谷正男, 山下信子, 平岡政弘, * 宿南憲一, * 小辻文和, * 重松陽介, 眞弓光文: リトドリンおよび硫酸マグネシウムの母体投与により腎機能障害を呈したと考えられた新生児例. *小児科臨床.* 54, 1789-1792, 2001,9.

0131026

* 斉藤敦子, * 平井行一郎, * 清原隆宏, * 石田久哉, * 石黒和守, * 熊切正信, * 上田恵一, 眞弓光文, * 法木左近: 組織球性壊死性リンパ節炎の1例. *臨床皮膚科.* 55(10), 777-779, 2001.

総 説

0131027

大嶋勇成：アレルギー性炎症と樹状細胞. 日本小児アレルギー学会誌. 14, 81-86, 2001.

0131028

眞弓光文：食物アレルギーの最近の動向. 特集・アレルギー疾患の診断と治療-内科医のためのガイドライン. 内科. 87(3), 525-528, 2001.

0131029

眞弓光文：抗アレルギー薬のガイドラインでの位置づけ 2 小児気管支喘息. 治療学. 35(5), 499-501, 2001.

0131030

眞弓光文：食物アレルギーはどこまで関与しているか. 特集 アトピー性皮膚炎-最新情報. 日本医師会雑誌. 126(1), 21, 2001.

0131031

眞弓光文：乳幼児および小児喘息の管理・治療. 特集 気管支喘息に関する新しい潮流. アレルギー科. 12(1), 48-54, 2001.

0131032

眞弓光文：小児アトピー性皮膚炎と食物アレルギー -小児科医の立場から-. 日本皮膚アレルギー学会雑誌. 9(3), 60-65, 2001.

0131033

眞弓光文：小児における吸入ステロイド薬の使い方. 特集：一般医のための喘息治療のコツ. 今月の治療. 9(12), 121-123, 2001.

0131034

大嶋勇成, 眞弓光文：小児救急医療の実際：気管支喘息. 小児科診療. 64, 1812-1817, 2001.

0131035

大嶋勇成：TNF/TNFRファミリーと樹状細胞の分化・機能. 血液・腫瘍科. 43, 411-418, 2001.

0131036

平岡政弘：先天性腎尿路奇形(CAKUT)の発生機序. 腎と透析. 東京医学社, 50, 820-823, 2001,6.

0131037

平岡政弘：水腎症, 巨大尿管. 小児内科. 東京医学社, 33, 616-617, 2001,11.

0131038

Nishimura, M. , Tsukahara, H. , Hiraoka, M. , Ohshima, Y. , Osaka, Y. , Tanizawa, A. , Mayumi, M. : Systemic inflammatory response syndrome and acute renal failure in Hemophilus influenzae septic meningitis. Review Series: Infectious Diseases. 4, 16-17, 2001,12.

報告書

0131039

大嶋勇成, 小俣合歓子, 安富素子：ケモカインによる樹状細胞の性状の変化：自然免疫と獲得免疫への反応性への影響に関する研究. 公害健康被害補償予防協会委託業務報告書：乳幼児・小児の気管支ぜん息の保険指導に関する研究報告書 2000年度, 109-115, 2001,3.

0131040

大嶋勇成：ナイーブT細胞の分化制御因子の解析とアレルギー性疾患発症予測の試みに関する研究. 平成11～12年度

科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書. 2001,3.

0131041

*重松陽介, 畑郁江: タンデム質量分析計による新生児マススクリーニングの有用性の検討. 平成12年度厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書. 545-547, 2001,3.

0131042

畑郁江, *重松陽介: 尿によるウイルソン病マススクリーニング-三歳児健診との連携-. 平成12年度厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書. 523-526, 2001,3.

0131043

眞弓光文: ADF/チオレドキシニンによる食品低アレルゲン化法の開発と食物アレルギー治療. 平成10~12年度文部省科学研究費補助金(基盤研究(A)(1)研究代表者)研究報告書. 2001,3.

0131044

眞弓光文: 酸化ストレス/検討と治療法の開発. 厚生科学研究費補助金: 感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業「アトピー性皮膚炎の病因・病態の解明及び新治療法の開発に関する総合研究」班 平成12年度報告書. 2001,3.

0131045

眞弓光文: 気管支ぜん息の発症・病態に関わる遺伝因子の解析. 公害健康被害補償予防協会委託業務「小児気管支ぜん息の発症・変動因子に関する研究」平成12年度研究報告書. 13-16, 2001,3.

0131046

眞弓光文: 厚生労働省特定疾患 血液系疾患調査研究班 原発性免疫不全症候群分科会 平成12年度研究報告書. 2001, 3.

0131047

眞弓光文: 小児慢性疾患効果的療育支援のあり方と治療の評価に関する研究. 厚生科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業(主任研究者 神谷斎)平成12年度(研究協力者)研究報告書. 2001, 3.

0131048

眞弓光文: 喘息ガイドライン作成に関する研究. 厚生科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業)(主任研究者 宮本昭正)平成12年度(研究協力者)研究報告書. 2001,3.

0131049

眞弓光文: 食品低アレルゲン化法の開発による食物アレルギー治療に関する研究. 厚生科学研究費補助金 感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業「食物アレルギーの実態及び誘発物質の解明に関する研究」平成12年度研究報告書. 2001,3.

0131050

Tsukahara, H. : Nitric oxide modulation of endothelial barrier function. Annual Research Reports of Renal Anemia Foundation. 125-136, 2001,6.

学会発表

1. 国際レベル

一般講演

0131051

Ohshima, Y., Omata, N., Yasutomi, M., Yamada, A., Fujisawa, K., Mayumi, M. : Dysregulation of IL-13 production by cord blood CD4 T cells is associated with the subsequent development of atopoid dermatitis. Experimental Biology, 2001,3, Orland.

0131052

Nishida, K., *Watanabe, K., Mayumi, M., *Echigo, S., *Nishikimi, T. : Plasma adrenomedullin levels in Kawasaki disease. 第10回心臓血管薬物療法国際会議, 2001,3, 京都.

0131053

Nishida, K., *Watanabe, K., *Echigo, S., *Nishikimi, T., *Yamada, O., *Tsuda, E., *Takamuro, M., *Yasuda, K. : Plasma adrenomedullin levels in Kawasaki disease. The 3rd World Congress of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery, 2001,5, Toronto.

0131054

Nakai, A., *Kumakura, Y., *Boivin M, *Rosa P, *Diksic M, *D'Souza D, *Kersey K : The Gender cerebral regional difference of serotonin synthesis in patients with irritable bowel syndrome. The 7th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping, 2001,6, Brighton.

0131055

*Diksic M, Nakai, A., *Kumakura, Y., *Boivin M, *Neto PR, *D'Souza D, *Kersey K. : Regional differences of serotonin synthesis in patients with irritable bowel syndrome revealed by using α -[11C]Methyl-L-Tryptophan, PET and statistical parametric mapping. Congress of the European Association of Nuclear Medicine, 2001,8, Napoli.

0131056

*Kumakura, Y., *Natsume, J., *Toussaint PJ, *Rosa P, Nakai, A., *Mzengeza S, *Meyer M, *Diksic, M. : Generation of functional images of the tissue trapping constant for α -[11C]Methyl-L-Tryptophan using constrained linear regression and venous sinus normalized input function. Congress of the European Association of Nuclear Medicine, 2001,8, Napoli.

0131057

*Diksic M, *Fedi M, *Natsume, J., *Rosa P, *Kumakura, Y., Nakai, A., *Okazawa, H., *Dubeau F, *Andermann F, *Reutens D. : The Use of α -[11C]Methyl-L-Tryptophan with positron emission tomography in the identification of the epileptic focus. The 12th World Congress of Neurosurgery, 2001,9, Sydney.

0131058

Tsukahara, H., Kobata, R., *Sekine, K., *Miura, M., Ohshima, Y., Hiraoka, M., *Hosokawa, K., *Kotsuji, F., Mayumi, M. : Vasoactive and natriuretic mediators in umbilical cord blood. ASN/ISN World Congress of Nephrology, 2001,10, San Francisco.

0131059

*Noiri, E., *Nakao, A., *Uchida, K., Tsukahara, H., *Fujita, T., *Brodsky S, *Goligorsky MS. : Scavenging of peroxynitrite ameliorates lipid peroxidation and DNA damage in experimental ischemic ARF. ASN/ISN World Congress of Nephrology, 2001,10, San Francisco.

0131060

Tsukahara, H., Todoroki, Y., Hiraoka, M., Ohshima, Y., *Sekine, K., *Miura, M., *Hosokawa, K., *Kotsuji, F., Mayumi, M. : Hormones and autacoids in umbilical cord blood. 2nd Canada-Japan Bilateral Workshop on Human Reproduction & Reproductive Biology, 2001,11, Fukui.

0131061

Nishida, K., *Watanabe, K., *Kangawa, K., *Tsuda, E., *Yamada, O., *Hara, H., *Nishimura, M., Mayumi, M., *Echigo, S., *Nishikimi, T. : Increased Plasma Adrenomedullin Levels in Kawasaki Disease with Coronary Artery Involvement. The 7th International Kawasaki Disease Symposium, 2001,12, 箱根.

2. 全国レベル

①特別講演

0131062

塚原宏一：呼吸器系における一酸化窒素（NO）の病態生理学的役割. 第5回小児気道アレルギー研究会 大塚製薬学術論文賞受賞講演, 2001,11, 大阪.

②シンポジウム

0131063

眞弓光文：アレルギーマーチの途絶をめざして。パネルディスカッション-アトピー性皮膚炎の治療戦略-。2001,1, 東京。

0131064

平岡政弘：超音波スクリーニングによる低形成腎の発見。第9回日本逆流性腎症フォーラムシンポジウム 先天性逆流性腎症, 2001,2, 大阪。

0131065

塚原宏一：乳児骨代謝と未熟児骨減少症について。第1回新生児栄養フォーラム, 2001,4, 川越。

0131066

大嶋勇成：小児アレルギーとT細胞。第13日本アレルギー学会春季大会シンポジウム アレルギーとT細胞, 2001,5, 横浜。

0131067

大嶋勇成：TNF/TNFRファミリーと樹状細胞の分化と機能。第41回日本リンパ網内系学会総会シンポジウム ヒト樹状細胞の性状と免疫細胞療法, 2001,5, 秋田。

0131068

平岡政弘：-VURの治療・管理-小児科の立場から：予防内服は本当に必要か。第36回日本小児腎臓病学会シンポジウム 先天性腎尿路疾患へのアプローチ, 2001,6, 東京。

0131069

平岡政弘：乳幼児での尿路感染症の診断法の現状とその妥当性：小児科サイドより。第10回日本小児泌尿器科学会シンポジウム 小児の尿路感染症, 2001,7, 東京。

0131070

平岡政弘：乳幼児での尿路感染症の抗生物質の予防投与の現状とその妥当性：小児科サイドより。第10回日本小児泌尿器科学会シンポジウム 小児の尿路感染症, 2001,7, 東京。

0131071

平岡政弘：小児の逆流性腎症の問題点。第31回日本腎臓学会東部学術大会シンポジウム 逆流性腎症の問題点, 2001,10, 山梨。

0131072

平岡政弘：臨床におけるCAKUTの発生と腎障害の進展。第31回日本腎臓学会東部学術大会ワークショップ CAKUT (Congenital anomaly of kidney and urinary tract)の発生と病態, 2001,10, 山梨。

0131073

中井昭夫, * 富田香, * 北山富士子, 平野聡子, 藤沢和郎, 畑郁江, * 重松陽介：リジン尿性蛋白不耐症における新しい食事療法の試み。第44回日本先天代謝異常学会 ミニシンポジウム 先天代謝異常症の新しい治療法の開発, 2001,11, 久留米。日本先天代謝異常学会雑誌, 17, 113, 2001。

0131074

塚原宏一：髄膜炎の発症と一酸化窒素 (NO) 。第33回日本小児感染症学会総会, 髄膜炎, 脳炎脳症-発症のメカニズムを探る-, 2001,11, 宇部。

③一般講演

0131075

塚原宏一, * 春田恒和, 眞弓光文：小児髄膜炎における酸化ストレスの評価。第75回日本感染症学会総会, 2001,3, 奈良。

0131076

川谷正男, 巨田尚子, 畑郁江, 大嶋勇成, 平岡政弘, 木川芳春, *金兼千春, *谷内江昭宏, *石原靖紀, 眞弓光文: 乳児期後期に発症したEBV関連巨細胞性肝炎の一例. 第104回日本小児科学会総会, 2001,5, 仙台. 日児誌. 105(3), 406, 2001,3.

0131077

木川芳春, 藤澤和郎, 眞弓光文: Fructose-1,6-bisphosphatase欠損症の診断に遺伝子解析は有用か?. 第104回日本小児科学会総会, 2001,5, 仙台. 日児誌. 105(3), 264, 2001,3.

0131078

*重松陽介, 平野聡子, 畑郁江, 藤澤和郎, 眞弓光文, *田中幸枝, *須藤正克, *佐倉伸夫, *伊藤道徳, *黒田泰弘: タンデム質量分析計による新生児マススクリーニング-広域パイロットスタディ. 第104回日本小児科学会総会, 2001,5, 仙台. 日児誌. 105(3), 330, 2001,3.

0131079

塚原宏一, 大坂陽子, 平岡政弘, Jiang Mizu, 眞弓光文: NOによるレドックス制御: 慢性的NO合成阻害モデルにおける酸化ストレスの評価. 第44回日本腎臓学会学術総会, 2001,5, 東京.

0131080

平岡政弘, 塚原宏一, 大坂陽子, *堀親秀, *土田晋也, *橋本剛太郎, 眞弓光文: 尿路感染症児に対する抗菌剤の予防投与を行わない内科的な管理法における再発要因の解析. 第104回日本小児科学会総会, 2001,5, 仙台. 日児誌. 105(3), 333, 2001,3.

0131081

平岡政弘, 大坂陽子, 塚原宏一, 眞弓光文: 尿路感染症による腎障害の発生予測因子に関する検討. 第44回日本腎臓学会学術総会, 2001,5, 東京.

0131082

安富素子, 小俣合歓子, 大嶋勇成, 眞弓光文: 臍帯血CD4陽性T細胞のサイトカイン産生能とIL-13遺伝子多型との関係. 第13日本アレルギー学会春季大会, 2001,5, 横浜.

0131083

巨田尚子, 大嶋勇成, 川谷正男, 畑郁江, 平岡政弘, 木川芳春, *金兼千春, *岡田かなえ, *谷内江昭宏, 眞弓光文: 乳児期後期に黄疸にて発症したEBV関連巨細胞性肝炎の1例. 第11回EBウイルス感染症研究会, 2001,6, 東京.

0131084

塚原宏一, 平岡政弘, 古畑律代, 大坂陽子, 江米足, *細川久美子, *小辻文和, *関根恭一, *三浦雅一, 眞弓光文: 臍帯血液中における各種血管作動物質の計測. 第36回日本小児腎臓病学会学術集会, 2001,6, 東京.

0131085

塚原宏一: Nitric oxide modulation of endothelial barrier function. 腎性貧血研究会平成12年度研究報告会, 2001,6, 東京.

0131086

平岡政弘, 塚原宏一, 眞弓光文, *春日健孝, *石原義紀: 新生児の超音波スクリーニングによる腎形成異常の発見と臨床所見の検討. 第36回日本小児腎臓病学会, 2001,6, 東京.

0131087

*重松陽介, 平野聡子, 畑郁江, *田中幸枝, *須藤正克: ESI-MS/MSによる新生児マス・スクリーニングとハイリスクススクリーニングの展開. 第26回日本医用マススペクトル学会年会, 2001,9, 東京.

0131088

谷澤昭彦, 巨田尚子, *冨田直子, *坪倉ひふみ, 古畑律代, 安富素子, 西田公一, 竹内元浩, *齋藤正一, 眞弓光文: 造血幹細胞移植後に心嚢液貯留を認めた急性白血病症例. 第43回日本小児血液学会, 2001,9, 北九州. 日小血会誌. 15(4), 298, 2001,8.

0131089

塚原宏一, *野入英世, 江米足, 大嶋勇成, 平岡政弘, 眞弓光文: 一酸化窒素(NO)によるヒト肺微小血管内皮細胞接着の制御. 第10回Airway Club in Sendai研究会, 2001,9, 仙台.

0131090

小俣合歓子, 安富素子, 大嶋勇成, 眞弓光文: MCP-1による樹状細胞のIL-12産生能の変化. 第51回日本アレルギー学会総会, 2001,10, 福岡.

0131091

*鈴木直人, *菱沼隆則, *千葉智子, 木川芳春, 眞弓光文, *吉田晃, *百井亨, *橋本剛太郎, *水柿道直: 気管支喘息におけるアラキドン酸代謝物に関する研究第1報: 質量分析法とトロンボキササンについて. 第51回日本アレルギー学会総会, 2001,10, 福岡. アレルギー-50,9(10),194, 2001.

0131092

*吉田晃, 木川芳春, *鈴木直人, *菱沼隆則, *千葉智子, *水柿道直, *橋本剛太郎, 眞弓光文: 気管支喘息におけるアラキドン酸代謝物に関する研究第2報: 非発作時における小児患者での検討. 第51回日本アレルギー学会総会, 2001,10, 福岡. アレルギー-50,9(10),195, 2001.

0131093

*重松陽介, 平野聡子, 畑郁江, 中井昭夫, 眞弓光文, *田中幸枝, *須藤正克: タンデム質量分析計・新生児代謝異常マスキング・スクリーニングにおける対象疾患とカットオフ値の検討. 第29回日本マス・スクリーニング学会, 2001,10, 横浜. 日本マスキング学会雑誌. 11(2), 89, 2001.9.

0131094

鈴木孝二, 畑郁江, 塚原宏一, 小俣合歓子, 安富素子, 大嶋勇成, 眞弓光文: 唾液腺由来の高アミラーゼ血症を呈したテオフィリン中毒の一例. 第38回日本小児アレルギー学会, 2001,10, 北九州.

0131095

巨田尚子, 谷澤昭彦, 小俣合歓子, 古畑律代, 竹内元浩, 眞弓光文: 造血幹細胞移植後に横紋筋融解症を合併したALLの一例. 日本臨床血液学会, 2001,11, 三ノ宮. 臨床血液. 42 (2), 1061, 2001,10.

0131096

*重松陽介, 平野聡子, 畑郁江, 中井昭夫, *田中幸枝, *山口清次, *高柳正樹: タンデム質量分析計による先天代謝異常症ハイリスク・スクリーニング. 第44回日本先天代謝異常学会, 2001,11, 久留米. 日本先天代謝異常学会雑誌. 17(2), 133, 2001.

0131097

山下信子, 塚原宏一, 川満徹, 西田公一, 大嶋勇成, 平岡政弘, 眞弓光文, *平泉泰: 急性脳症を発症したSalmonella enteritidis腸炎の1例. 第33回日本小児感染症学会総会, 2001,11, 宇部.

0131098

山下信子, 谷澤昭彦, 川谷正男, 竹内元浩, 眞弓光文, *宮地文也, *秋野裕信, *岡田謙一郎: 出血性膀胱炎を合併しながら同種末梢血幹細胞移植を施行しえたALL男児例. 第24回日本造血細胞移植学会, 2001,12, 札幌.

3. 地域レベル

①シンポジウム

0131099

中井昭夫: 肥満症患者への心理療法について. 第29回農村保健研究集会シンポジウム 21世紀からの健康づくり-生活習慣病の基盤としての肥満症-, 2001,3, 福井.

②一般講演

0131100

山下信子, 畑郁江, 塚原宏一, 川谷正男, 平野聡子, 藤澤和郎, 中井昭夫, 川満徹, 木川芳春, *小林圭子, *佐伯武頼, *重松陽介, 眞弓光文: 黄疸, 肝障害を契機にシトルリン血症Ⅱ型と診断された一乳児例. 第271回日本小児科学会北陸地方会, 2001,3, 金沢.

0131101

平野聡子, 谷澤昭彦, 平岡政弘, 眞弓光文, *守山典宏, *金丸洋史, 安富素子, *木村郁子: 黄色肉芽腫性腎盂腎炎の一例. 第272回日本小児科学会北陸地方会, 2001,6, 松岡.

0131102

畑郁江, 木川芳春, 平野聡子, 中井昭夫, *重松陽介, 眞弓光文: 45, X/46, X, dic(Y)による性分化異常症の一例. 第37回中部日本小児科学会, 2001,8, 金沢.

0131103

平岡政弘, 山田直江, 塚原宏一, 眞弓光文, *木村宏輝: Enterococcusを起炎菌とし尿路感染症が再燃した1男児例. 第9回中部日本小児腎臓病研究会, 2001,9, 富山.

0131104

塚原宏一, 古畑律代, 眞弓光文: 未熟児骨減少症 (osteopenia of prematurity) の対策について. 第15回北陸未熟児新生児研究会, 2001,10, 金沢.

0131105

椎間優子, 古畑律代, 早川和代, 小淵信子, 中井昭夫, 塚原宏一, 谷澤昭彦, 平岡政弘, 眞弓光文: エリスロマイシン少量持続投与中に肥厚性幽門狭窄症を発症した慢性肺疾患の超早産児例. 第273回日本小児科学会北陸地方会, 2001,12, 富山.

4. 県内レベル

①特別講演

0131106

眞弓光文: 小児の骨・関節の病態生理. 福井県整形医会総会特別講演, 2001,2, 福井.

0131107

眞弓光文: 小児の食物アレルギーとアトピー性皮膚炎. 第3回Osaka Derma研究会特別講演, 2001,4, 大阪.

0131108

眞弓光文: 小児気管支喘息最近の話題. 第12回福山小児科医会学術集会特別講演, 2001,7, 福山.

0131109

眞弓光文: 小児気管支喘息の病態生理と治療. 平成13年度石川県小児科医会秋期例会特別講演, 2001,10, 金沢.

②シンポジウム

0131110

大嶋勇成: 抗原提示細胞制御. 第5回小児気道アレルギー研究会シンポジウム 免疫学的治療・発症予防の展望, 2001,11, 大阪.

5. その他の研究会又は集会

①特別講演

0131111

塚原宏一: 周産期医療の実態について. 福井県消防長会, 2001,1, 福井.

0131112

大嶋勇成: ぜんそくの治療とその対応. 小児慢性特定疾患研修会, 2001,2, 福井.

0131113

眞弓光文：アレルギー疾患とその治療。福井県薬剤師会・福井県病院薬剤師会学術講演会特別講演，2001,6，福井。

0131114

眞弓光文：小児アレルギー疾患と食物アレルギー。第1回和歌山小児免疫アレルギー研究会特別講演，2001,6，和歌山。

0131115

眞弓光文：快適ライフのためのぜんそくコントローラー。北国新聞社主催金沢・ぜんそくシンポジウム特別講演，2001,6，金沢。

0131116

眞弓光文：小児アレルギー疾患の病態と治療。小浜市医師会講演会特別講演，2001,7，小浜。

0131117

眞弓光文：小児気管支喘息の薬物療法。ロイコトリエンフォーラムin北陸～喘息治療の新しい流れ～，2001,9，金沢。

0131118

眞弓光文：小児喘息の病態と治療。鯖江市医師会学術講演会特別講演，2001,9，鯖江。

0131119

眞弓光文：小児アレルギー疾患の病態と治療。堺市医師会講演会特別講演，2001,9，堺。

0131120

眞弓光文：小児アレルギー疾患の病態と治療。第404回新居浜小児科医会特別講演，2001,10，新居浜。

0131121

眞弓光文：抗アレルギー剤の小児への使い方。第3回京都臨床皮膚懇話会特別講演，2001,11，京都。

0131122

眞弓光文：小児気管支喘息の病態と治療。喘息治療フォーラムin KOBE特別講演，2001,11，神戸。

0131123

眞弓光文：小児気管支喘息の病態と治療。小児喘息治療フォーラム22001 in NAGOYA特別講演，2001,12，名古屋。

②一般講演

0131124

西田公一，谷澤昭彦，山田直江，安富素子，福本由紀子，竹内元浩，眞弓光文：臍帯血移植後，消化管GVHDとthrombotic microangiopathyを合併したALLの一例。第11回福井造血幹細胞移植研究会，2001,3，福井。

0131125

山下信子：出血性膀胱炎を伴いながら造血幹細胞移植を迎えるALL症例。第16回福井移植と大量化学療法研究会，2001,3，福井。

0131126

山下信子，平岡政弘，畑郁江，西田公一，大坂陽子，塚原宏一，眞弓光文：外陰部異常を呈し巣状糸球体硬化症から腎不全に至ったFrasier症候群の一男児例。第6回福井腎疾患研究会，2001,3，福井。

0131127

椎間優子：臍帯血移植後に急性GVHD/TMAを合併した1才女児例。第17回福井移植と大量化学療法研究会，2001,7，福井。

0131128

大嶋勇成：気道炎症における樹状細胞の役割；ケモカインの樹状細胞機能に対する影響。GlaxoSmithKline Asthma Workshop in Kanazawa, 2001,9, 金沢。

0131129

鈴木孝二，西田公一，早川和代，竹内元浩，谷澤昭彦，眞弓光文：眼窩横紋筋肉腫の一例；放射線療法の位置付け。第15回北陸小児癌症例検討会，2001,9, 金沢。

0131130

大嶋勇成，畑郁江，小倉一将，小俣合歓子，安富素子，眞弓光文：気管支喘息の治療中に半身のchoreoathetoid運動が出現した4歳女児例。第28回北陸アレルギー懇話会，2001,12, 金沢。

その他の社会活動(未熟児診療部を含む)

学会，セミナー，研究会等の主催状況

区 分	主催回数
学 会	1回
研 究 会	4回

各種審議会，委員会等への参加状況

委員会等の名称	役 職 名
福井県心身障害児就学指導委員会	福井県心身障害児就学指導委員
福井県難病対策委員会	小児慢性特定疾患認定審査委員
福井県健康づくり推進協議会	母子保健部会委員
日本学術振興会科学研究費委員会	専門委員

学術雑誌等の編集委員としての活動状況

学術雑誌等の名称	委員の名称
日本小児アレルギー学会雑誌	編集委員長
日本小児感染症学会雑誌	編集委員

一般市民，医療関係者への啓蒙活動状況

区 分	概 要	主催者の組織形態	実施回数	派遣人数
公開講座	知識の地域住民への啓発	福井県小児保健協会	2回	1人
講演会	保健医療福祉従業者の資質の向上	民間企業等	4回	1人
研究会等	〃	〃	8回	1人
マスコミ	病気の啓蒙	NHK福井支局	2回	1人